

月刊 まつなみ

発行2010年4月1日



各務原市/岐阜市岩地 岩田 輝雄 撮影

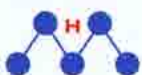


2010
No.126

4

April

●発行●



松波総合病院

羽島郡笠松町田代185の1
TEL 058-388-0111(代)

社会医療法人 蘇西厚生会

理念

私たちは、地域中核の社会医療法人として地域住民の皆様に、安全で質の高い医療・福祉を効率的かつ継続的に提供する。

基本方針

私たちは、医療における安全を重視し、患者様中心の根拠に基づいた医療・福祉サービスを提供します。

私たちは、患者様や利用者様のプライバシーを守り、権利を尊重します。

私たちは、経営の安定と組織の活性化を図り、職員の働きがいと生活が安定し向上するよう努力します。

目次

- 「救急」柱に地域と歩む
- 4階病棟の紹介
「一無・二少・三多」の6つの健康習慣！
- 「離れ」現象！
お知らせ



松波総合病院
 ▽創設1933年 ▽432床 ▽看護態勢7対1 ▽常勤医86人 ▽内科、外科、産婦人科など24科。人間ドック、検診、人工透析をする。「まつなみ健康増進クリニック」や、訪問看護、居宅介護支援などの事業所が入る「まつなみ在宅総合ケアセンター」が隣接 ▽笠松町田代185の1
 ▽名鉄西笠松駅、名鉄笠松駅から徒歩10分
 ▽電話058(388)0111

「救急」柱に地域と歩む

岐阜の病院 つなごう医療

2010年(平成22年)2月21日(日曜日)

一階の救急外来室。ある昼下がり、救急車で搬送された高齢の女性が検査を受けていた。心筋梗塞の疑いがあり、男性医師がモニターに映る血流の動きをつぶさに見つめる。

その最中、風呂場で意識を失った高齢男子が救急車で各務原市から運び込まれた。医師らは救急隊員から状況を確認しながら、同時に心電図などで症状を診察していく。スタッフは昼食も取らず治療に当たっていた。

一九三三(昭和八)年に松波外科医院として開設され、右肩上がり地域の中核病院にまで成長した。今まで介護老人保健施設なども運営。形成外科など各分野の専門医も抱えて質の高い医療を提供している。

松波英一名誉院長の「救急患者は断るな」の言葉が昔からの「社是」であり、救急医療が大きい

松波総合病院 笠松町



な柱となっている。昨年一年間で三千百七十七人の救急車の患者を受け入れ、時間外患者も一万六千二百六十三人と多い。

救急医療センターが外来、集中治療センターが入院とそれぞれの役割を二十四時間態勢で果たしている。

救急医療センターの荒木恒敏センター長は「患者の病態が劇的に変化する。短時間で診断、治療を行う必要がある。自分を試される」。集中治療センターの責任者である赤松繁副院長も「最先端

医療で生死の境にいる患者を救いたい」と思いを語る。

県境にある立地から、県南部の市町に加え、愛知県西部からも救急患者は搬送される。各市町の救急隊員のレベル向上のため勉強会を定期的に催し、隊員と医師らの顔が見える関係づくりに力を注ぐ。気管挿管できる救急救命士の育成にも積極的に協力。現在、岐阜市近郊に在る五十六人のうち十七人の育成を支援し、地域の救急医療を底上げしている。住民向けには、自動体外式除細動器(AED)の使い方も市民講座で開いている。

「病院に来る前のシステムを構築することが命を救うことにもつながる」と赤松副院長。救急現場に携わる関係者、地域住民を巻き込みながら、救急医療を充実させている。(石井宏樹)



「中日新聞社許諾済」

中核の存在を目指す

山北宜由院長の話。病院を運営する蘇西厚生会は県内で初めて公共性の高い医療を担う「社会医療法人」に認定された。医療から福祉まで幅広い関連施設を生かし、人生をカバーできる病院として、県内一の急性期医療と介護福祉の拠点でありたい。地域の中核としての存在を確立するため、できるだけ多くの人に訪れていただける病院にしていきたい。

4階病棟の紹介

看護師長 大暮 訓子

4階病棟は産婦人科・小児科を主体とした女性中心の病棟で急性期看護を実践しています。

産科は、不妊・切迫流産・分娩・産褥育児を通しての継続看護を行っています。助産師を中心に手と目で患者様を

しっかりと見て判断し行動することで、異常の早期発見、妊娠・分娩・育児に伴う指導・精神的フォローを行なっております。

婦人科は、月・木が手術日で、子宮筋腫・卵巣嚢腫（内視鏡的手術）の手術を中心に実施し、他に癌患者の化学療法看護を行なっています。女性特有の疾患であるため疾患に関する十分な知識と観察を行なう事で治療とともにメンタル的な部分での介入を大切にしています。

小児科は、小児疾患(肺炎・気管支炎・脱水・腸炎など)を中心に看護を実施しています。患児と看護師との良い人間関係を保つために、看護師の技術が優れていることは大きな要素であり、小児の不安と苦痛を最小限にしながら年齢発達を意識した関わりができるように努力しています。小児の場合、家人が付き添うケースも多く、患児本人を取り巻く家人に対してのサポートも重要と考え看護の中でより良い信頼関係を築いていけるように努力しております。

その他女性病棟として、内科、外科を含む混合病棟で、若年層から老年まで対象は幅広いため、看護師の知識・技術・瞬時の観察・判断能力を持って、日々、患者様と向き合い、女性病棟特有の細やかな配慮と心配り、心身ともに充実した看護ケアを目指し、いつも笑顔での丁寧な対応を提供できるように心掛けるよう努力しております。



血糖・血圧・脂質も軽度のうちに改善しましょう

「一無・二少・三多」の6つの健康習慣!

一無 無：無煙 タバコは吸わない

二少 少：少食（腹6～8分）・少酒（ビールなら中瓶1本、日本酒なら1合まで）

三多 多：多動 積極的に動く、多休 休憩、休養、睡眠を十分とり心身リフレッシュ
多接 多くの人、事、物に接してよい趣味をはぐくみ、豊かで創造的な生活を・



「離れ」現象！

「デパート離れ」「車離れ」「活字離れ」「自民党離れ」「鳩山離れ」？と最近離れの現象が目につきます。ピーク時と現在の比較を表にすると

	ピーク時	現在	備考
デパート離れ	9兆7千億円	7兆円割れ	全国売り上げ高
車離れ（新車販売）	598万台	292万台	軽自動車を除く
活字離れ	5千3百75万部	5千35万部	紙媒体の活字離れ
自民離れ	（自民党支持率）	24.6%（26.3%）	支持率
鳩山離れ	（民主党支持率）	36.3%（29.0%）	支持率



名古屋駅

この現象は経済的要因（景気後退）・時代の変化（ネットの普及）・魅力の減退（商品のマンネリ化）では共通しています。

気になるのは活字離れ、本を読まないで、パソコンばかりをしていると前頭葉が破壊され頭が可笑しくなると言われ心配です。

デパート離れはデフレ、車社会の影響を受け1等地から老舗の百貨店が次々と姿を消す。それにしても車離れの実態は何か？最近の学生の興味関心を持つ製品のトップはパソコンで自動車は17位。私達（50~60代）の学生時代は1位ファッション、車7位だった！

バブル崩壊から20年、沖縄普天間の問題等・・・米国が日本離れを招かないか心配である。



中日新聞 3月7日社説一部引用 広報担当：尾関



4月

お知らせ

■糖尿病教室 ※糖尿病が気になる方はどなたでも気軽にご参加ください。

- ◎入門コース…一回で糖尿病について一通り学べます。 3日(土) 3階講堂にて午後2時~4時
- ◎調理実習会…事前にお申し込みが必要です。 18日(日) 詳細は外来掲示板等にてお知らせします。
- ◎毎週水、金曜日、5階病棟デイルームにて 午後1時~2時

尚、都合により日時等変更する場合がございますのでご了承ください。

交通のご案内

新幹線羽島駅 — 西笠松 — 松波総合病院
 名鉄竹鼻線15分 徒歩10分
 タクシー20分

名鉄岐阜駅 — 西笠松 — 松波総合病院
 名鉄電車羽島行10分 徒歩10分
 タクシー20分

名鉄名古屋駅 — 笠松 — 松波総合病院
 名鉄電車急行25分 徒歩15分

